

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	010	スポーツ推進審議会運営費	事業3	001	スポーツ推進審議会運営費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。
- ・内容 スポーツ基本法第31条の規定により、本市のスポーツ推進に関し必要な調査及び審議を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
17 パートナースhipで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 スポーツ推進計画の進捗状況や次期計画の策定に対し、外部からの意見を聴取することができる。
- ・目標値 会議の開催回数 年3回

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 スポーツ基本法、秦野市スポーツ推進審議会設置条例
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 116千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 229千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 254千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 230千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 はだの丹沢クライミングパークの管理・運営状況の外部評価等
はだのスポーツビレッジの概要について
- ・令和7年度 はだの丹沢クライミングパークの管理・運営状況の外部評価
はだのスポーツビレッジにおける指定管理者の審査について
秦野市スポーツ推進計画の策定について

4 事業の自己評価 (目標値に対する効果の検証・課題・問題点等) [C]

外部からの意見を聴く機会の定例化

5 令和8年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	010	スポーツ推進審議会運営費	事業3	001	スポーツ推進審議会運営費

はだの丹沢クライミングパークの指定管理者の選定を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
審議会委員の報酬の改定による増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

スポーツ推進計画の進捗状況について意見を聴くほか、指定管理施設の外部評価を行う。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 - ・ 内 容 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 - ・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 - ・ 内 容 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 - ・ 内 容 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	020	スポーツ推進委員連絡協議会運営費	事業3	001	スポーツ推進委員連絡協議会運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 委員相互の連絡調整を図り、社会体育行政に協力するとともに、体育・スポーツ・レクリエーションの推進を図ることを目的とする。
- ・内容 スポーツ基本法第32条及び秦野市スポーツ推進委員規則に基づき委嘱した委員の活動費用
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効果 地域のリーダーとして、市民に対してスポーツの実技指導やその他スポーツに関する指導助言を行うことができる。
- ・目標値 自主研修会や事業の実施及び他市開催による研修会への参加回数 年5回

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 スポーツ基本法、秦野市スポーツ推進委員規則
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 2,168千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 2,197千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 2,096千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 2,200千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 市主催事業への協力、研修会への参加
- ・令和7年度 委員改選、市主催事業への協力、研修会への参加

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

当市主催の各種事業への協力、市民向けスポーツの実技や助言指導を行うなど、スポーツの普及振興のための功績は多大なものがある

地域の指導者（リーダー）として活動しており、スポーツを支える新たな人材の獲得及び育成が課題である。

令和7年度から県央やまなみ地域交流事業として「県央やまなみ3Daysウォーク」（はだのさわやかウォーク）を実施し、7月には「5市町村スポーツ推進委員交流会」（厚木・伊勢原・清川村・愛川町）を開催した。

近年、スポーツを始めるに当たり、健康増進やダイエットを目的として始める人、「趣味」や「仲間との交流」等を求

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	020	スポーツ推進委員連絡協議会運営費	事業3	001	スポーツ推進委員連絡協議会運営費

めスポーツを始める人などきっかけは多種多様となっている。これに対応するため、スポーツ推進委員活動の充実と資質向上のために必要な研修費用等について支援しながら、地域の指導者を引き続き育成していくことが大切と考える。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
市主催事業への協力及び研修会への参加、主催事業の実施

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

スポーツ推進委員連絡協議会の全国大会等出張先の変更による旅費の減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

委員活動の充実と資質向上のため、研修会への積極的な参加を行うとともに、推進委員の定数や推薦方法等の検討を行う。

各地区のスポーツリーダーとして活躍できるよう、研修会や大会へ積極的に参加し、知識を培えるよう支援していく。

市民向けの調査によると健康意識やスポーツに対する関心は非常に高いものの、20歳代から50歳代の「ビジネスパーソン」や「子育て世代」のスポーツ実施率が低く、これらの世代が気軽にスポーツを行う環境づくりが課題である。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）

・ 内 容 該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）

・ 内 容 該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）

・ 内 容 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	030	スポーツ大会等実施経費	事業3	001	スポーツ大会等実施経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 スポーツ推進計画の基本理念である『ライフステージ・志向に応じて「はつらつと・だれもが・のびのびと」スポーツに親しみ・楽しむ秦野（まち）』を実現するため、スポーツ・レクリエーションイベントの活性化を図る。
- ・内容 スポーツに親しむ機会とさまざまな年齢やレベルの市民がスポーツ・レクリエーションを通じた交流の場を提供する。
- ・SDGs
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 健康増進・運動習慣のきっかけとして、いきいきとゆったりとした気持ちで生涯にわたりスポーツに親しんでもらう。
- ・目標値 週1回30分以上、スポーツ・レクリエーション活動をする市民の割合 65.0%（令和6年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 スポーツ基本法
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 8,163千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 9,158千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 6,447千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 7,000千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 第20回の記念大会となる「はだの丹沢水無川マラソン大会」のほか、市制施行70周年記念事業として開催する「ニューイヤークウォークin弘法山」や「市駅伝競走大会」などの各種事業を通じて、更なるスポーツ・レクリエーション活動の機会充実を図った。
- ・令和7年度 市制施行70周年記念として、「秦野武道祭」「丹沢ボッカ駅伝競走大会」「スポーツライミングはだの丹沢カップ」及び「はだの丹沢水無川マラソン大会」事業を拡大して実施した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	030	スポーツ大会等実施経費	事業3	001	スポーツ大会等実施経費

市制施行70周年記念事業を基に、子ども・若者・成人・高齢者などさまざまな世代がスポーツに親しむ機会の創出に取り組んだ。事業の拡大による効果もあり、各事業とも前年を上回る集客を集めるとともに、参加者数も増大となった。次年度以降は、通常の規模による事業の開催となることから参加者の減少が懸念されるが、スポーツの機会の確保のため、今後市民の参加を促す事業を展開していくことが必要である。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

スポーツ・レクリエーション活動機会の確保として、引き続き、「秦野武道祭」「スポーツクライミングはだの丹沢カップ」「市駅伝競走大会」「はだの丹沢水無川マラソン大会」を開催するとともに、チャレンジデーに替わる事業として、一人でも気軽にできるスポーツを促進する目的として新たに「OMOTAN WALKフェス」を開催する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

市制施行70周年記念イベントの終了による委託料の減
実行委員会の解散に伴う「ポッカ駅伝競争大会」の終了による補助金の減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

秦野市スポーツ推進計画の基本理念である「ライフステージ・志向に応じて『はつらつと・だれもが・のびのびと』スポーツに親しみ・楽しむ秦野（まち）」を目指し、計画に位置付けられた施策に取り組む。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当無し

(2) 自然災害対策への取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当無し

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当無し

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	040	学校体育施設開放経費	事業3	001	学校体育施設開放経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 スポーツ・レクリエーション活動の提供と、地域のコミュニティづくりの推進を図る。
- ・内容 学校教育に支障のない範囲で地域住民に学校体育施設の開放を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効果 市が管理するスポーツ施設等だけでは、補えない活動の場を提供することができる。
- ・目標値 利用人数の増（令和6年度 301,609人）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 スポーツ基本法、学校教育法、社会教育法
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 14,815千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 14,983千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 8,209千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 8,500千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 学校施設を開放及び教育委員会との連絡調整
学校に電子錠システムを導入し、団体の利便性の向上及び教職員の負担軽減を図った。
- ・令和7年度 学校施設を開放及び教育委員会との連絡調整
施設予約システム及び電子錠システムを連動し、団体の利便性向上及び教職員の負担軽減を図るとともに、システムの安定運用に努めた。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

年間を通じて約30万人が利用しており、本市が進めるスポーツ推進の場の提供に大変影響を与えている。また、利用団体の利便性向上と教職員の事務負担軽減のためのシステムを導入し、学校開放におけるICT化を実施した。学校開放における利用団体数は200団体を超えており、団体に対する施設の数に飽和状態に差し掛かっている。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	040	学校体育施設開放経費	事業3	001	学校体育施設開放経費

新たなスポーツ活動の場を検討していく必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 引き続き、施設予約システム及び電子錠システムの円滑な運用に資するため、学校と連携を図っていく。
 新たなスポーツ活動の場を検討していく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

学校のプール開放事業の終了に伴う委託料の減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

過去3年間の利用実績 令和4年度232,611人、令和5年度296,420人、令和6年度301,609人

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

学校開放の施設予約システム及び電子錠の導入を実施し、学校、教育委員会等と連携して
 効率的な体制を強化する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 6,836千円（4,773千円）

・ 内 容

電子錠システム管理運用委託 1,622千円

電子錠システム警備委託 5,214千円

(2) 自然災害対策への取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）

・ 内 容 該当無し

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）

・ 内 容 該当無し

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	050	(公財) 秦野市スポーツ協会補助金	事業3	001	(公財) 秦野市スポーツ協会補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市スポーツ推進計画に基づく、スポーツ施策をより効果的に展開していく実行組織である。
スポーツ協会を継続的に支援する。
- ・内容 公益財団法人秦野市スポーツ協会の組織運営を継続的に支援するもの
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民の体力向上、健康増進及び競技力の向上
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 公益財団法人秦野市スポーツ協会補助金交付要綱
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 43,487千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 45,763千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 48,958千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 49,000千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 スポーツ施策の実行組織として安定した運営をするための支援を行った。
- ・令和7年度 引き続き安定した組織として運営するための支援を行う。

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する効果の検証・課題・問題点等) [C]

スポーツ協会の人材確保、育成と新たな収益事業の企画運営を実施するための支援、協力を実施する。

5 令和8年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

組織の安定化を図るとともに、ライフステージ・志向に応じて「はつらつと・だれもが・のびのびと」スポーツに親しみ、楽しむ秦野(まち)の実現を目指す取組みを継続する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	050	(公財) 秦野市スポーツ協会補助金	事業3	001	(公財) 秦野市スポーツ協会補助金

- (1) 増減理由
人件費の引き上げに伴う増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
当期支出額－（前期繰越額＋収入額）＝補助額
84,348,000－（2,821,000＋32,569,000）＝48,958,000円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
スポーツ協会が自主・自立した組織運営及び事業展開ができるよう支援を行う。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	060	スポーツ連携推進事業費	事業3	001	スポーツ連携推進事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 関係団体等と連携した様々な取組みを通じて、市民等が絆を深めるとともに、地域への誇りと愛着の醸成を図る。
- ・内容 民間企業、大学・学校等と連携し、スポーツの価値を最大限に引き出し、人口減少・少子超高齢社会において有用な交流人口の増加、新たな地域コミュニティの創造等につなげるもの。
- ・SDGs
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - 17 パートナースhipで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 スポーツを通じて、地域内外の様々な団体や組織・個人がつながることで、地域コミュニティに新しい価値とスポーツによる好循環を生み出す。
- ・目標値

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令
- ・計画 第2期秦野市スポーツ推進計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 2,354千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 5,230千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 2,442千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度
 - ・全日本女子野球連盟等との連携による全国女子中学生硬式野球選手権大会の開催及び侍Japan女子代表ワールドカップ直前合宿の開催支援
 - ・日本野球機構との連携による笑顔のキャッチボールプロジェクトの開催支援
 - ・プロ野球チームとの連携による野球教室やふれあいイベントの開催支援
 - ・湘南ベルマーレ連携事業の実施 (ホームゲーム親子招待事業等)
 - ・プロバスケットボールチームとの連携による公式戦等の開催支援
 - ・上智大学等との連携によるパラスポーツフェスティバルの開催
- ・令和7年度
 - ・70周年記念事業 (MLBや大相撲秦野場所の開催支援) の実施
 - ・全日本女子野球連盟等との連携による全国女子中学生硬式野球選手権大会の開催

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	060	スポーツ連携推進事業費	事業3	001	スポーツ連携推進事業費

- ・日本野球機構との連携による笑顔のキャッチボールプロジェクトの開催支援
- ・プロ野球チームとの連携による野球教室やふれあいイベントの開催支援
- ・湘南ベルマーレ連携事業の実施（ホームゲーム親子招待事業等）
- ・上智大学等との連携によるパラスポーツフェスティバルの開催

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]
 「全国女子中学生硬式野球選手権大会」や、湘南ベルマーレ等との連携による取組み等を通じて、地域内外の様々な団体や組織・個人がつながり、地域コミュニティに新しい価値とスポーツによる好循環を生むことができた。
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 ホームタウンチーム（湘南ベルマーレ、女子野球タウン等）や大学と連携し、トップレベルの選手権大会等の開催の誘致や支援を行う。また、イオンリテール株式会社や大学と連携しパラスポーツの周知・推進を持続的に実施する。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 (1) 増減理由
 市制施行70周年記念事業の完了に伴う減
 大相撲秦野場所の開催に伴う体育館の音響施設費用に伴う減
 (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 引き続き様々な関係団体との連携事業を推進し、スポーツによる地域活性化等を図る。
- 8 その他
 (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 ・内 容 該当なし
 (2) 自然災害対策への取組
 ・予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 ・内 容 該当なし
 (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 ・効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 ・内 容 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	070	スポーツ振興基金積立金	事業3	001	スポーツ振興基金積立金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民スポーツの普及振興を図る財源として「秦野市スポーツ振興基金」に積み立てる。
- ・内容 秦野市スポーツ振興基金の趣旨に沿う寄付金や運用から生じる収益を積み立てる。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民スポーツの普及振興を図ることにより市民の健康増進と明るく豊かな潤いのある市民生活に寄与する。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市スポーツ振興基金の設置、管理及び処分に関する条例
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 14千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 22千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 48千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 32千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 運用益及び寄付金の積立て
- ・令和7年度 運用益及び寄付金の積立て

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

秦野市スポーツ振興基金の設置、管理及び処分に関する条例施行規則第3条で規定する基金の主たる用途は概ね達成されていることから、新たな用途、事業目的を設定し、スポーツ振興の財源確保に努める。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

運用益や令和3年度からスポーツ広場に設置した基金塔への寄付金の積立てを行う。
新たに、末広自由広場に募金塔を設置し、利用者からの寄附金を推進する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	070	スポーツ振興基金積立金	事業3	001	スポーツ振興基金積立金

- (1) 増減理由
預金利息及び基金塔（テクノスポーツ広場及びびなでしこスポーツ広場、末広自由広場）の実績から計算し増額
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
テクノスポーツ広場及びびなでしこスポーツ広場の基金塔の実績
令和7年度見込：13,000円
新規基金塔見込：2,000円
基金利息：33,000円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
引き続きスポーツ施設などへの寄付の受け皿としての整備を行う。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	080	保健体育事務費	事業3	001	保健体育事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 スポーツ・レクリエーション活動の普及促進等、スポーツ行政を行っていくのに必要な経費
- ・内容 保健体育事務費の庶務費用
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効果 該当なし
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費(進捗率) : 5,308千円
- ・令和7年度予算 事業費(進捗率) : 6,502千円
- ・令和8年度予算 事業費(進捗率) : 6,849千円
- ・令和9年度以降 事業費(進捗率) : 6,800千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 会計年度任用職員の雇用、全国大会出場者への激励金交付など
- ・令和7年度 会計年度任用職員の雇用、全国大会出場者への激励金交付など

4 事業の自己評価(効果、目標値に対する効果の検証・課題・問題点等)[C]

第2期秦野市スポーツ推進計画の進捗状況管理の業務、学校開放におけるシステム入力作業等が見込まれる。

5 令和8年度の主な取組(課題解決への取組等)[A]

計画の進捗状況管理を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

会計年度任用職員の最低賃金増額による報酬の増
各種イベント補助等における会計年度任用職員の最低賃金増額による報酬の増

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	15	保健体育総務費	事業1	017	01020116
事業2	080	保健体育事務費	事業3	001	保健体育事務費

スポーツ施策基礎調査委託の減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 時間単価 R5 : 1,078円 → R6 : 1,169円 → R7 : 1,379円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 スポーツ推進計画の進捗状況を管理するとともに、スポーツ関係団体と緊密に連携したスポーツの推進を図る。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 - ・ 内 容 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 - ・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 - ・ 内 容 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 - ・ 内 容 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	16	体育施設費	事業1	018	01020117
事業2	010	サンライフ鶴巻維持管理費	事業3	001	サンライフ鶴巻維持管理費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民の主体的な活動及び交流の場を提供する
- ・内容 サンライフ鶴巻の維持管理
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民の健康の維持及び増進を図る
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市サンライフ鶴巻条例
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画、秦野市公共施設再配置計画、秦野市公共施設保全計画、秦野市スポーツ施設ストック最適化方針、秦野市スポーツ広場等整備指針

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 30,275千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 33,797千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 33,415千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 35,000千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 施設の維持管理、設備修繕
- ・令和7年度 施設の維持管理、設備修繕

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

市民等に施設を安全・安心に利用していただけるよう管理運営を行っており、大きな事故を起こすことなく開設することができている。しかし、設置後35年が経過していることから各種設備等の不具合が生じており、早急な更新が必要となっている。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

施設の維持管理、設備修繕

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	16	体育施設費	事業1	018	01020117
事業2	010	サンライフ鶴巻維持管理費	事業3	001	サンライフ鶴巻維持管理費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

会計年度任用職員の最低賃金増額による報酬の増
特定箇所修繕の予定なしの為修繕費の減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

施設を安全・安心に利用してもらえるように継続して維持管理に努める。
当施設の在り方について関係課と検討していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
- ・ 内 容 該当なし

(2) 自然災害対策への取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
- ・ 内 容 該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
- ・ 内 容 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	16	体育施設費	事業1	018	01020117
事業2	020	スポーツ広場維持管理費	事業3	001	スポーツ広場維持管理費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民のスポーツ振興の場の提供
- ・内容 私有地等の有効活用を図っているスポーツ広場（なでしこ運動広場、テクノスポーツ広場、末広自由広場、寺山スポーツ広場、栃窪スポーツ広場、立野緑地スポーツ広場）の維持管理
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 本市の多目的の行政財産等をスポーツ・レクリエーションを行う広場として市民に開放し、地域住民の福祉の増進を図る。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市スポーツ広場の利用等に関する要綱
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画、秦野市スポーツ施設ストック最適化方針、秦野市スポーツ広場等整備指針

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 10,251千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 11,927千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 12,937千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 13,000千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 スポーツ広場を安心して利用できるよう、適正な維持管理をするとともに、有効利用を図る。
- ・令和7年度 スポーツ広場を安心して利用できるよう、適正な維持管理をするとともに、有効利用を図る。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

市民等に施設を安全・安心に利用していただけるよう管理運営を行っている。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

スポーツ広場を安心して利用できるよう、適正な維持管理をするとともに、有効利用を図る。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	16	体育施設費	事業1	018	01020117
事業2	020	スポーツ広場維持管理費	事業3	001	スポーツ広場維持管理費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

スポーツ広場維持管理に伴う委託料の増
 作業用衣服の購入による増
 広場の補修用材料購入による増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

必要な修理、修繕を実施しながら、施設を安全・安心に利用してもらえるように継続していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 ・ 内 容 該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 ・ 内 容 該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
 ・ 内 容 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	16	体育施設費	事業1	018	01020117
事業2	030	はだの丹沢クライミングパーク管理運営費	事業3	001	はだの丹沢クライミングパーク管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 県立山岳スポーツセンターの「リード」及び「スピード」施設と一体的に運用し、スポーツクライミングの普及振興を図る。
- ・内容 指定管理者による管理運営に移行し、「はだの丹沢クライミングパーク」の維持管理、教室事業等を実施する。
- ・SDGs
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - 15 陸の豊かさを守ろう
 - 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民の健康増進、表丹沢の魅力向上、スポーツクライミングの裾野拡大
- ・目標値 年間来場者数22,000人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 はだの丹沢クライミングパーク条例
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画

事業費	:	
令和6年度決算	事業費（進捗率）	: 21,701千円
令和7年度予算	事業費（進捗率）	: 20,975千円
令和8年度予算	事業費（進捗率）	: 21,200千円
令和9年度以降	事業費（進捗率）	: 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 適切な施設運営及び維持管理
- ・令和7年度 適切な施設運営及び維持管理

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

大きな事故を起こすことなく施設運営ができていたため、引き続き指定管理者と連携し、安全・安心な運営管理に努める。
また、山岳スポーツセンター、県立秦野戸川公園を含めた一体的な運営により、引き続き利用促進や表丹沢の魅力向上、クライミングの普及振興を図る。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	16	体育施設費	事業1	018	01020117
事業2	030	はだの丹沢クライミングパーク管理運営費	事業3	001	はだの丹沢クライミングパーク管理運営費

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
適切な施設運営及び維持管理

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
横断幕設置委託料の皆増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
来場者数推移
令和6年度 26,991人
令和5年度 23,228人
令和4年度 23,782人

7 今後の取組方針（事業の必要性・方向性・改善方法）[A]
県立山岳スポーツセンターと連携し、スポーツクライミングのさらなる普及促進、裾野拡大を図る。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	16	体育施設費	事業1	018	01020117
事業2	040	スポーツ施設改修事業費	事業3	001	スポーツ施設改修事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 スポーツ施設を安心・安全に利用してもらうため。
- ・内容 スポーツ施設の補修や設備更新を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 施設の長寿命化、利用者の安全・安心の確保
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画、秦野市スポーツ施設ストック最適化方針、秦野市公共施設再配置計画、秦野市公共施設保全計画、秦野市スポーツ広場等整備指針

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 24,184千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 20,463千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 69,530千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 50,000千円

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容[D]

- ・令和6年度 なでしこ運動広場テニスコート改修工事
サンライフ鶴巻照明設備更新工事
なでしこ運動広場事務所トイレ工事
- ・令和7年度 南中学校ナイター照明設備更新工事 (LED化)

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する効果の検証・課題・問題点等) [C]

引き続き施設の計画的な改修、修繕を行う必要がある。

5 令和8年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

なでしこ運動広場不陸整正工事
末広自由広場防球ネット設置工事
サンライフ鶴巻トイレ改修工事

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	16	体育施設費	事業1	018	01020117
事業2	040	スポーツ施設改修事業費	事業3	001	スポーツ施設改修事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

工事件数の増に伴う工事請負費の増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

各種工事の実施

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

計画的な施設改修等を実施する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）

・ 内 容 該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）

・ 内 容 該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）

・ 内 容 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	16	体育施設費	事業1	018	01020117
事業2	050	はだのスポーツビレッジ管理運営費	事業3	001	はだのスポーツビレッジ管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 スポーツ環境の充実を図るとともに、渋沢丘陵一帯のにぎわい創出につながるスポーツの拠点とすること。
- ・内容 指定管理者の管理運営により、「はだのスポーツビレッジ」の維持管理を行う。
- ・SDGs
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 15 陸の豊かさも守ろう
 - 17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 スポーツ環境の充実、スポーツを通じた地域活性化、渋沢丘陵の魅力向上
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令
- ・計画 秦野市スポーツ推進計画、はだのスポーツビレッジ基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 607千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 221千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度
- ・令和7年度 はだのスポーツビレッジの運営に向けた協議
秦野市スポーツ推進審議会による指定管理候補者への審査

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

はだのスポーツビレッジの安定的かつ魅力的な運営に向けて、引き続き協議を進めていく必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

基本協定及び年度協定の締結

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0123200000	スポーツ推進課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	16	体育施設費	事業1	018	01020117
事業2	050	はだのスポーツビレッジ管理運営費	事業3	001	はだのスポーツビレッジ管理運営費

供用開始
指定管理者による運営開始

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
新規事業の開始に伴う皆増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

はだのスポーツビレッジの安定的かつ魅力的な運営に向けて、指定管理者と連携して進めていく

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 151千円（ 151千円）
・ 内 容 施設利用料のキャッシュレス決済によるシステム使用料
- (2) 自然災害対策への取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・ 効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
・ 内 容